

次世代のねぎ防除作業

～ねぎほ場におけるドローン農薬散布実演会～

山武農業事務所改良普及課 令和5年10月25日発

山武地域の特産品であるねぎは、品質及び収量の確保のために適切な病害虫防除が不可欠です。そこで、防除作業の効率化が期待できる農業用ドローンを用いた農薬散布の実演会を9月27日に開催し、山武地域のねぎ生産者及び関係機関合わせて22名（生産者17名、関係機関5名）が参加しました。

実演会では、農業資材メーカーからドローン散布の特徴や導入に必要な資格・コストなどについて説明を受けた後、秋冬ねぎのほ場にて散布作業の実演を行いました。参加者からは、「ドローンに興味はあったが実際に見たのは初めてで、自分の畑で飛ばす際のイメージができた」、「今後の規模拡大に向けて参考にしたい」等の意見が聞かれました。

農業事務所では、ねぎ産地の維持・発展に向けて、生産者やJA等関係機関と連携を図り、より効率的な栽培管理に向けた新技術導入の検討を進めていきます。



ドローン散布に係る概要説明



ドローン散布の実演